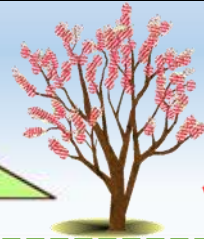


2025 年(令和7年) 3月1日

さ
か
し
た

タイムズ

ときめき・かがやき・つながる さかし



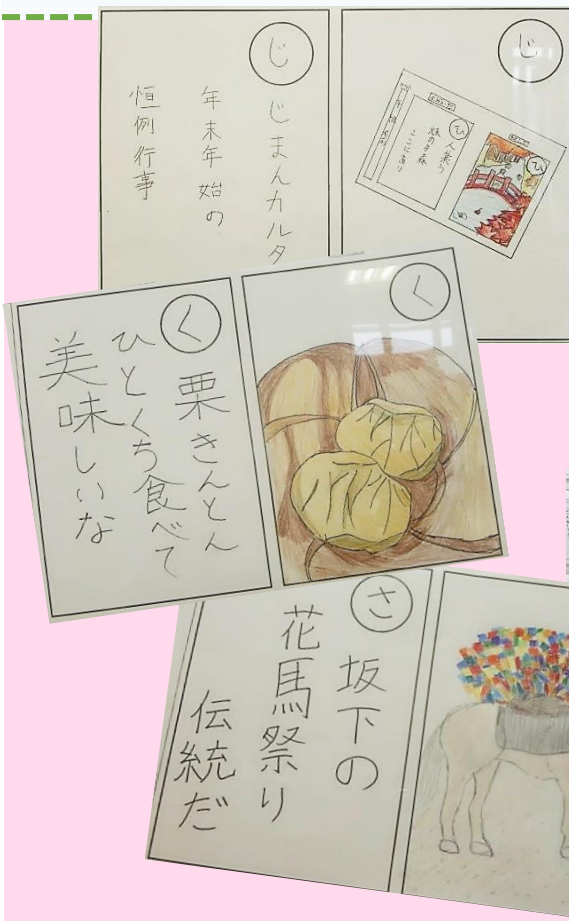
第 233 号

やさかじまんカルタ

1月30日(木)～2月20日(木)、ショッピングセンターサラとやさか地区の各公民館で「やさかじまんカルタ」の展示が行われました。これは、やさか地区の公民館と青少年健全育成推進市民会議の各支部の合同事業として行われたものです。今年で5回目の開催となります。

小・中学生にやさか地区の『じまん』を募集したところ、それぞれの思いの詰まった355枚ものカルタが集まりました。

カルタの絵札と読み札には、子ども達が思い描く『じまん』が描かれていました。作品を通して、今まで気づかなかった、知らなかった坂下・山口・川上の良いところを発見できました。



やさかじまんカルタ

公民館図書室で児童版郷土資料の貸し出しができます



「坂下の歴史と文化を楽しむ会」のみなさんが手掛けた児童版郷土資料が、坂下公民館図書室で貸し出しできるようになりました。

子どもたちが読みやすい郷土資料が少ないことから、坂下公民館の依頼により、同会が2022年より取り組んできたものです。現在9冊が完成しています。10冊目ももうすぐ完成する見込みです。

小学3年生を対象として、その年齢の子どもたちが習っている漢字を使用し、わかりやすい言葉で表した文章で地域の歴史や文化を紹介しています。

この資料を坂下小学校で読み聞かせをしたところ、地域のことに興味をもつ子が増えたということで、地域学習にも活用されています。

坂下の歴史や文化を学び伝える活動をしている同会が、「坂下の地名の由来について」の講演会を開催します。ぜひご来場ください。(入場無料)

日時 3月9日(日) 13:30～
場所 坂下公民館 大会議室
講師 山内和幸氏(日本地名研究所 岐阜地理学会会員)

お問い合わせ 坂下公民館 ☎ 75-3115 (平日9:00～17:00)



▲坂下小学校 読み聞かせの様子

まちづくり協議会からののお知らせ

JR坂下駅の待合室に、「駅の歴史パネル」を展示しました。ぜひご覧ください。



現在、JR坂下駅は、利用者の減少から『簡易委託駅』として、まちづくり協議会が乗車券の販売業務を中津川市から委託を受け運営しています。

マイナンバーカードをお持ちの方へ ～電子証明書更新について～

有効期限を迎える方には、有効期限の2～3か月前を目途に、
【地方公共団体情報システム機構】より有効期限通知書が送付されます。

！！注意！！

坂下総合事務所では、電子証明書の更新はできません。

電子証明書の更新のお手続きは、市役所1階市民保険課窓口または付知郵便局・坂本郵便局で行うことができます。
※郵便局の営業時間は市役所と異なります。

詳しくは、市役所市民保険課、または、付知郵便局・坂本郵便局にお問い合わせください。

マイナンバーカードの
電子証明書の有効期限は
年齢問わず、発行日から
5回目の誕生日までです。

区 長 会 通 信

有効期限が切れてしまうと、
保険証として使うことができなくなります。
通知書が届きましたら、速やかにお手続きしてください。

坂下地区の人口は、令和2年1月が4,332人、令和6年1月が3,951人となり、この4年間で381人減少しました。世帯数は、45戸の減少です。

坂下地区は、JR坂下駅、路線バス、巡回バスやタクシーもあり、他地区とくらべて公共交通機関は充実、名古屋方面に向かうにもたいへん便利な立地で、診療所、民間の病院もあり、国道、県道、下水道もほぼ完備されているにも関わらず、過疎化が進んでいます。

「人々が集い、笑顔あふれるまちさかした」をスローガンに、区長会は皆さんと共に活性化に取り組んで参りますので、ご理解、ご協力をお願いいたします。

坂下診療所の民営化はこの1年間、進捗はありませんが、民営化へさらなる推進活動を実施していきます。

桜の湖畔さくらの開花予想



桜の湖畔の桜は、毎年3月下旬から4月上旬に開花し、花見の名所になっています。

開花中は、湖畔の夜桜も楽しんでいただけるようライトアップを行う予定です。ぜひ桜の湖畔の桜をお楽しみください。

また、4月6日（土）には、桜の開花に合わせ、『桜の湖音楽フェス 2025in 月の市』を開催します。

お問い合わせ ☎75-4444（やさか観光協会）

郷土文化財紹介

郷土文化財保存会会員 はやかわひでお 早川英雄

＜坂下の用水物語 11 曾我氏の移住と上井用水＞

坂下村の庄屋職を明治維新まで務めた曾我氏の祖曾我源左衛門は、苗木狩宿から移住したとされます。いつごろにどのようにして移住したのかは分かっていませんでした。その手がかりとなる資料を見つけました。故原寛さんが書き残した『坂下における寺院研究 金龍山三井寺』のなかに次のような記述がありました。

「かつて、三井寺の大火鉢が坂下小学校に保管されており、次のような線刻が見られた。『濃州恵奈郡坂下村金龍山三井寺什物 享保十八癸丑年九月吉日 現住 寂照代 施主 吉村八郎右衛門 八田恵七郎 吉村吉兵衛 曾我源左衛門 吉村平右衛門 堀田要庵 高木祐光』云々」

時は享保 17 年(1733 年)であり、八田恵七郎が町組庄屋職に就いた頃です。施主名を確認すると吉村八郎右衛門は下組庄屋、吉村吉兵衛は合郷組庄屋です。堀田要庵は下組で、高木祐光は合郷での著名な医師です。坂下三郷の庄屋、医師らが施主として名を連ね、その中ほどに曾我源左衛門の名が見えます。この記録を考えて見るに、苗木城内で重要な祈禱職を担う三井寺第 6 世阿闍梨寂照の仲立ちで、坂下三郷の庄屋等にも認められ町組の医師として移住してきたのではないのでしょうか。そして、大火鉢を三井寺に寄贈し、坂下村の住民として受け入れられたことの証としたのではないのでしょうか。

ところで、八田恵七郎が庄屋職を務めるのは享保の終わり頃から寛保の末頃(1733～1743 年)の 10 年程ですが、この間曾我源左衛門は町組に伊織屋を興し医師として根付き力を蓄えました。源左衛門の長子源内は伊織屋を継ぎ、寛保元年頃八田恵七郎の元で組頭を務めています。次子政吉は中之垣外下段に片部を興し医師として分家しました。三男長右エ門は中之垣外上段に分家し大家を起こしています。後に町組庄屋を務めることになりました。

三井寺脇に「施主曾我氏 寛延四辛未天七月」と刻まれた高さ 50cm 程のたいへん穏やかな面で合掌印を結んだ地蔵菩薩座像が見られます。寛延 4 年(1751 年)は源左衛門が坂下に移住して 20 年ほどが経過した頃です。源左衛門は子息等が町組の中で徐々に認められ、それぞれ役割を努めていることに感謝し、なおかつ一族の更なる繁栄を願っての石仏奉納であったと思われます。その 10 年後、宝暦 10 年(1760 年)7 月、76 歳で源左衛門は没しました。



左上は、三井寺跡に残る曾我氏縁の地蔵菩薩石仏。
右上は、上井用水の悲劇を伝える中之垣外にある石碑。

さて、上井用水の話は苗木藩主 3 代友貞が広野新田開発令を出した承応 3 年(1654 年)まで溯ります。水は後山の幾筋かの沢水を集めて開拓を促すものでした。それから 100 年余が過ぎた宝暦の頃(1751～1763 年)、曾我源左衛門から分家した片部政吉らが中心となり用水開発を行うも失敗してしまいます。この悲劇は石碑なども建てられ伝承されています。

この後も町組では日照りや水不足を理由に新しい用水開発の要望が絶えません。町の重職を務めるようになっていた曾我の本案、分家大家らが中心となり 2 度目の用水開発に取りかかります。今度は失敗が許されません。思案の末、中山の低部を迂回し川上川から取水する合郷用水へつなげる方策を取りました。合郷の用水利用者と話し合いは難しかったと思われますが、折り合いがつき上井用水が完成します。谷川水系に頼っていた町組は水不足から解放され、さらに広野新田にまで水が行き渡りました。



上写真は坂下高校裏、中山の低部を迂回する上井用水路。
写真左奥に用水立役者の 1 人、水口源左衛門の碑が見える。

坂下高校 賢・剛・優

探究成果発表会

1月24日(金)、『探究成果発表会』が行われました。

これまで、生徒それぞれが興味・関心を持っているテーマについてゼミ形式で探究してきました。この日は様々なテーマで課題意識をもち1年をかけて取り組んできたことを発表しました。あるゼミでは獣害被害についての「DEAR DEER」様への取材から【ジビエカレー】を作り、咲明日高校マルシェで販売。あるゼミでは「ドリームジャパン」様の協力のもと【中津川地歌舞伎アイス】を開発し、咲明日高校マルシェや坂下歌舞伎特別講演で販売をするなど、商品化して形になるものもありました。その他のゼミも地域の企業、団体の皆様のご協力とご理解を得ながら活動し、探究する大切さを学んできました。また、地域を知る良い機会にもなりました。



坂下中学校 超升先輩

百人一首大会

1月8日(水)、9日(木)、百人一首大会(乱取り、源平合戦)を開催しました。12月から約1カ月間行ってきた取り組みで、大会は学年ごとに実施しました。

この大会に向けて、朝の10分間の活動時間を使って練習してきました。大会当日は、その成果が存分に発揮され、上の句を聞いた瞬間に素早く反応し札をとる場面が随所で見られました。粘り強くこつこつと継続して努力することの大切さを実感しました。また、百人一首大会のねらいである、仲間と楽しく取り組み、日本の伝統文化の良さを感じることができました。

今後もやさか地区の伝統文化に目を向け、ふるさとを愛する心を高めていってほしいと強く願っています。



坂下小学校 ひとりだち

児童集会 「感謝の会」

1月30日(木)に行われた児童集会に、本年度、坂下小学校の教育活動を支えてくださった皆さんをお招きして、「感謝の会」を開催しました。

児童代表の言葉で、小芝星さんは「皆さんのおかげで安全に登校でき、坂下のことをよく知れて、もち米をおいしく作ることができました。」と話し、児童全員で「ありがとうございました」の言葉や、歌とメダルをプレゼントして、皆さんに感謝の気持ちを伝えました。

会の後半では、一生懸命発表する1、3年生の子ども達に向けて、参加して下さった皆さんからも温かい拍手が送られました。「坂下の子ども達は地域に育てられている」ことを子供たちも改めて感じ、感謝の気持ちをもつことができたすばらしい会になりました。



やさかこども園 かがやく瞳

節分行事



稲荷山の鬼から「2月2日に園に来る」という手紙が来ました。怖がる子もいましたが、鬼は「人間の心の中の悪い鬼が欲しい」と言うので、自分の直したい所を考え、紙に書いたものを持っていってもらおうということになりました。鬼のお面、豆を入れる升も用意し、散歩では鬼が嫌うアセボ、ビンカ、ヒイラギを探して採って来ました。鬼札も作って部屋に貼り、準備万端で2日を迎えました。イワシを食べ終わったところに緑鬼が、その後から赤鬼が現れ、やる気も恐怖に変わっていましたが、それでも勇気を出して皆で鬼に豆を投げました。鬼が持ってきた袋に直したい所を書いた紙を入れました。一人ずつ自分の力で鬼のところに行き、全員が入れ終わると、鬼はその袋を持って満足そうに稲荷山に帰って行きました。鬼とお別れできて、ようやくホッとした子ども達でした。

《3月の主な行事》

日	曜日	行事名	時間	場所
1	土	坂下高校卒業式	10:00~	坂下高校
7	金	坂下中学校卒業式	9:00~	坂下総合体育館
12	水	いきいき元気教室	13:30~14:30	坂下公民館
19	水	行政・人権相談	13:00~15:00	坂下総合事務所第2庁舎
22	土	坂下小学校卒業式	9:00~	坂下小学校
25	火	やさかこども園卒園式	10:00~	やさかこども園
26	水	定例区長会	13:30~	坂下総合事務所第2庁舎
28	金	おはなしの会	10:00~11:00	坂下公民館
		やさか地区農業委員会	9:00~	坂下総合事務所
		農地相談	9:30~	

ごみの収集日

燃えるごみ	毎週月・木曜日	燃えないごみ	3月5日(水)
資源・硬質ごみ	3月12日(水)	大型ごみ	3月14日(金)
		有害ごみ	3月の収集はありません

慶弔のお知らせ

1月11日から2月10日の
坂下総合事務所への届出分
(敬称略)

●ご逝去

曽我 しづゑ (98歳) 松源地

人口と世帯数

(令和7年2月1日現在)

人口	3,943人(前月比8人減)
	男1,912人、女2,031人
世帯数	1,627世帯(前月比2世帯減)

編集・発行

中津川市 坂下総合事務所

電話 0573-75-2111

FAX 0573-75-4704

Mail sakashita-office@city.nakatsugawa.lg.jp